

日本同盟基督教団「教会と国家」委員会主催
2.11信教の自由セミナー2024

COMMON GRACE

国家は教会とどう関係するか ——カイパーの共通恩恵論から考える

2024 02.12 (月・休)

13:30~15:30

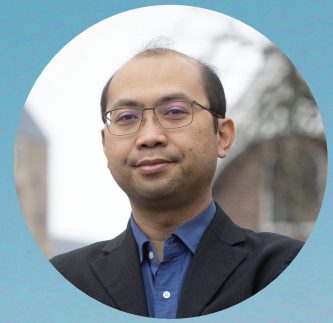
会場：茨木聖書教会



YouTube配信



講師：ハレファ・スルヤ 師
(茨木聖書教会副牧師)



ハレファ・スルヤ師プロフィール

1978年インドネシア・ジャカルタ生まれ。文部科学省の奨学生として1997年来日した際、学内伝道活動をきっかけに日本宣教の重荷が与えられ、東京基督神学校に進学。オランダのキャンペン神学大学でアブラハム・カイパーの教会と国家に関する教会論を研究。2021年から茨木聖書教会で協力牧師、2023年から副牧師をする傍ら、カイパー著『共通恩恵論』オンライン読書会を主催し、東京基督教大学やインドネシアの神学校で日本教会史、キリスト教世界観、伝道の神学を教える。

【講師からお誘いの一言】

政治的権威は神のしもべである（ローマ13:4）との教えを知らながらも、多くの福音派クリスチャンは政治に無関心で、嫌悪感さえ抱くと言われています。オランダ人の牧師であり神学教授、新聞記者、大学設立者、政治家であるアブラハム・カイパーは、今日日本で起きているものと類似した課題に直面した時、共通恩恵論を提唱しました。「共通恩恵」とは何か、教会と国家の関係を考えるのにどのように役立つか、一緒に学びませんか。

申込み先 (Peatixにて申込み下さい。参加費無料です。)

<https://freedomofreligion2024.peatix.com>

問合せ先

日本同盟基督教団「教会と国家」委員会 担当：本間羊一
メール jimweb_99@yahoo.co.jp

